

# EasyBlocks Syslog

## ユーザーズガイド

ファームウェア Ver.2.0.0 以降に対応



対象モデル  
EBAX/SYSLOGxG

ユーザーズガイド 2.0.0 (2018/04/18)

## ■ 商標について

- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することとはご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

## 目次

---

1. はじめに .....	4
1.1. 各部の名称 .....	4
1.2. ステータスインジケータの点灯について .....	4
1.3. INIT スイッチの操作 .....	5
1.4. 出荷時設定情報 .....	6
1.4.1. IP アドレス .....	6
1.4.2. WEB I/F の URL .....	6
1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザ .....	6
1.4.4. FTP ユーザ .....	6
1.5. 用語解説 .....	6
2. 設置・初期設定 .....	7
2.1. 設置・設定のステップ .....	7
2.2. 初期設定 .....	8
2.2.1. 設定端末の設定 .....	8
2.2.2. WEB 操作画面の表示 .....	9
2.2.3. 使用許諾契約書の確認 .....	10
2.2.4. 初期設定 .....	11
2.2.5. ネットワークの設定 .....	13
2.2.6. IP ルーティングの設定 .....	15
2.2.7. サービスの設定 .....	16
2.2.8. 装置の停止 .....	17
2.3. 設置 .....	18
3. WEB 操作画面 .....	19
3.1. ダッシュボード .....	20
3.2. サービス .....	21
3.2.1. ログ表示 .....	21
3.2.2. ログ統計 .....	25
3.2.3. 基本設定 .....	26
3.2.4. フィルタ設定 .....	35

3.2.5.	ログ管理 .....	38
3.3.	システム .....	43
3.3.1.	時刻設定 .....	43
3.3.2.	リポジトリ .....	45
3.3.3.	マイページ .....	46
3.3.4.	EasyBlocks .....	47
3.4.	ネットワーク .....	48
3.4.1.	基本 .....	48
3.4.2.	ルーティング .....	51
3.4.3.	詳細 .....	52
3.4.4.	状態 .....	53
3.5.	メンテナンス .....	54
3.5.1.	設定 .....	54
3.5.2.	システムの更新 .....	57
3.5.3.	停止・再起動 .....	63
3.5.4.	ログ収集 .....	65
4.	ログの自動削除 .....	66
5.	サポート用アカウント .....	66
6.	補足 .....	67
6.1.	WEB I/F のアクセスについて .....	67

1. はじめに

1.1. 各部の名称

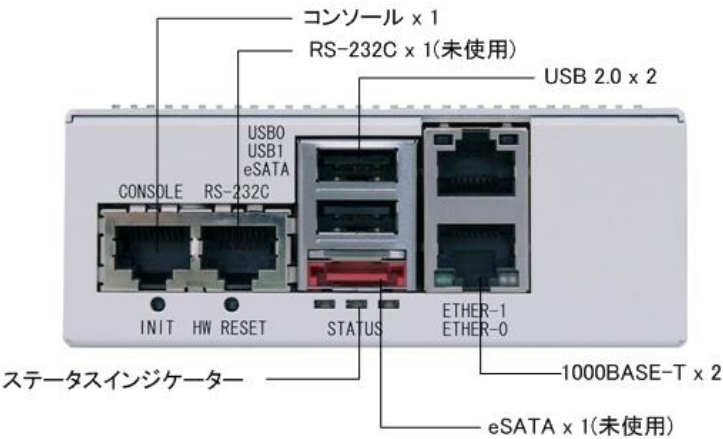


図 1-a 筐体前面

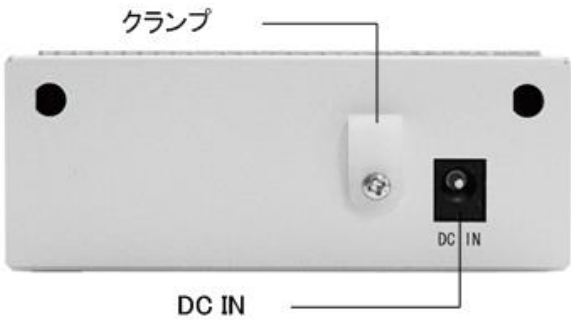


図 1-b 筐体背面

1.2. ステータスインジケータの点灯について

状態	ステータスインジケータ
停止中	全て消灯しています
稼働中	黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、左右に点灯・消灯を繰り返します。負荷が高くなるにつれて、3段階で速度が変化します。
停止後(シャットダウン処理後)	黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

### 1.3. INIT スイッチの操作

INIT スイッチの操作により、初期化起動及び停止・再起動の実行が可能です。

- 初期化起動方法

本体 INIT スイッチを押しながら(5 秒程度)電源 ON することにより、出荷状態での設定で起動します。

※実行ログやアプリケーションのインストール情報等は、初期化前の状態となります。

- INIT スイッチでの停止方法

稼働中の状態で INIT スイッチを 5 秒以上(赤色点灯となります)押下し続けた後に、スイッチを解放すると停止処理が開始されます。停止完了後は、LED 全色が同時に点滅します。

- INIT スイッチでの再起動方法

稼働中の状態で INIT スイッチを 0～4 秒間(2 秒までは黄色点灯、4 秒までは緑色点灯となります)押下し続けた後に、スイッチを解放すると再起動処理が開始されます。

## 1.4. 出荷時設定情報

### 1.4.1. IP アドレス

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
ETHER-0	192.168.254.254	255.255.255.0
ETHER-1	設定なし	設定なし

### 1.4.2. WEB I/F の URL

<http://192.168.254.254:880/>

※ Internet Explorer、Chrome、Firefox 等の最新バージョンの利用を推奨します。  
なお Internet Explorer 8 以下については、対応いたしません。

### 1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザ

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

### 1.4.4. FTP ユーザ

ユーザ	パスワード
ftpuser	後述の「  FTP サーバ機能」で設定していただきます。

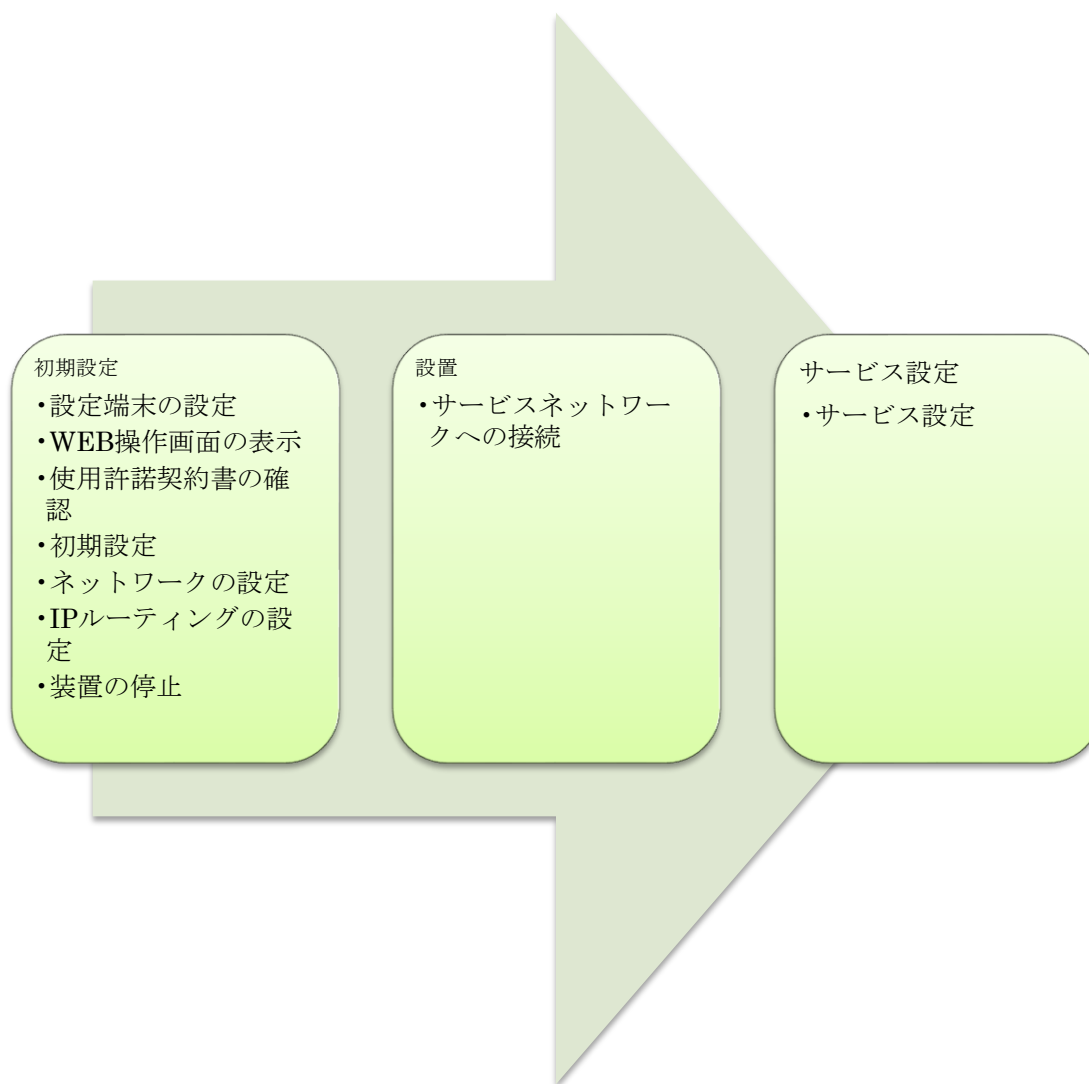
## 1.5. 用語解説

用語	説明
設定端末	初期設定を行うための端末（PC）です。
操作端末	サービスネットワークで本装置の操作を行うための端末（PC）です。
WEB 操作画面	EasyBlocks システム及び各種サービスを設定するための WEB インタフェースです。
サービスネットワーク	Syslog コレクタ（サーバ）機能を提供するネットワークです。

## 2. 設置・初期設定

---

### 2.1. 設置・設定のステップ





## 2.2. 初期設定

### 2.2.1. 設定端末の設定

設定端末から WEB 操作画面にアクセスするための準備を行います。以下の手順で設定端末に設定を行ってください。

1. 本装置の ETHER-0 に設定端末を接続する。
2. 設定端末に 192.168.254.0/24 のホストアドレス（192.168.254.254 を除く）を設定する。

以下に設定端末の設定例を記します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.254.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	なし
DNS サーバアドレス	なし

表 2-a 設定端末の設定例

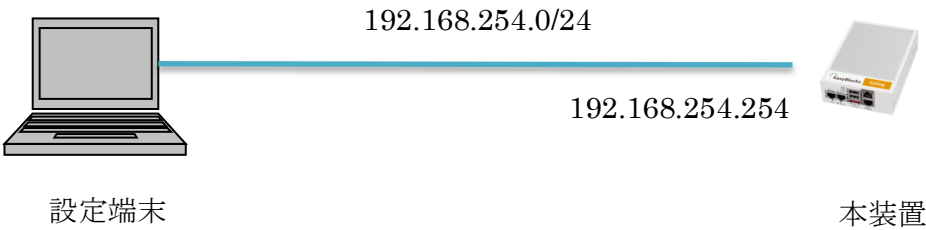


図 2-a 初期設定時のネットワーク構成

### 2.2.2. WEB 操作画面の表示

設定端末の WEB ブラウザで以下の URL を開いてください。

<http://192.168.254.254:880/>

### 2.2.3. 使用許諾契約書の確認



初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

EasyBlocks

この契約は、お客様とぴらっとホーム株式会社(以下、当社とします。)との間に締結される契約です。お客様がこの契約に同意できない場合は、本体未開封のまま本製品および付属品一式をご購入先まで返品ください。

**第1条 定義**  
本契約における使用許諾の範囲は、当社製品「EasyBlocks シリーズ」付属の管理ツールをい、W UI(ウェブ・ユーザー・インターフェース)ソフトウェア製品(以下、本ソフトウェア製品とします。)および取り扱い説明書などの付属資料一式が対象となります。  
本契約において「知的財産権」とは、特許権(特許出願権を含む)著作権、ノウハウその他一切の知的創作物に対する権利または法律上の利益をいいます。

**第2条 使用許諾**  
お客様は、本契約の全項目に同意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェアにおいて使用することが出来ます。

同意する

同意しない

(C) 2013-2014 PlatHome Co., Ltd. All rights reserved.

使用許諾契約書の内容に同意する場合は「同意する」と書かれたボタンをクリックしてください。「同意しない」をクリックした場合、次の画面に進むことは出来ません。

10/68

### 2.2.4. 初期設定

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

同意しない

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード (確認)

サポートデスク

アカウント (2)

ID:  パスワード:

操作

保存

管理者アカウントおよびサポートデスクの設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

各設定項目の詳細については、以下の表をご確認ください。

#### ◆ 管理者アカウント

設定項目	説明
ユーザー名	管理インタフェースへのログインに使用します。英数字を使用することが出来ます。
パスワード	管理インタフェースへのログインに使用します。
パスワード (確認)	入力したパスワードが意図したとおりの値であることを確認するために、再度、パスワードを入力してください。パスワードと一致しない場合は、再度、設定していただくことになります。

◆ サポートデスク

設定項目	説明
アカウント	サポートサービス登録完了通知書に記載された「USER ID」を ID に、「PASS WORD」をパスワードに入力してください。

## 2.2.5. ネットワークの設定

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本ルーティングプロキシ状態

共通設定

ホスト名 (2)

ex) ebsyslog

ドメイン名 (2)

ex) example.org

デフォルトゲートウェイ (2)

DNSサーバ1

DNSサーバ2

DNSサーバ3

サービスネットワーク (Ether-0)

IPアドレス

192.

168.

254.

254

/

24

?

サービスネットワーク (Ether-1)

使用する

はい

いいえ

操作

保存

ネットワークの設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目の値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

設定項目は以下のとおりです。

### ◆ 共通設定

設定項目	説明
ホスト名	ホスト名を入力してください。英数字およびハイフンを使用する事が出来ます。
ドメイン名	ドメイン名を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定してください。

設定項目	説明
DNS サーバ 1 ～ 3	DNS サーバの IP アドレスを設定してください。DNS サーバが 2 つ以上存在する場

13/68

	合は、DNS サーバ 2 および 3 にも DNS サーバの IP アドレスを入力してください。
--	--

◆ サービスネットワーク (Ehter-0)

設定項目	説明
IP アドレス	サービスネットワークで使用する本装置の IP アドレスを入力してください。

◆ サービスネットワーク (Ehter-1)

設定項目	説明
IP アドレス	サービスネットワークとして使用する本装置のインターフェースの IP アドレスを入力してください。

2.2.6. IP ルーティングの設定

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。  
設定を保存しました

設定を反映するには、再起動が必要です。

基本ルーティングプロキシ状態

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス

ゲートウェイ

操作

保存クリア

一覧

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.0.1	<a href="#">編集 / 削除</a>

サービスネットワークに接続した際に、操作端末から本装置にアクセスするためにIP ルーティングの設定が必要である場合は、IP ルーティングの設定を行ってください。手順は以下のとおりです。

- 1. ネットワークタブをクリックする
- 2. ネットワークタブ内のルーティングタブをクリックする。
- 3. ネットワークアドレスおよびゲートウェイに、適宜、値を入力し、保存ボタンをクリックする。

保存したルートは画面下部の一覧に表示されます。既に設定したルートの編集や削除を行いたい場合は一覧の「編集/削除」をクリックしてください。設定項目は以下のとおりです。

◆ ターゲットとゲートウェイ

設定項目	説明
ネットワークアドレス	ネットワークアドレスとネットマスク(プレフィックス長)を指定してください。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定してください。



### 2.2.7. サービスの設定

設置前に設定を完了したい場合は、サービスの設定を行ってください。設定方法については「3.2 サービス」をご確認ください。

## 2.2.8. 装置の停止



装置を停止します。手順は以下のとおりです。

1. メンテナンスタブをクリックする。
2. メンテナンスタブの中の停止・再起動タブをクリックする。
3. 「停止・再起動」の「停止」の横にある実行ボタンをクリックする。
4. 停止画面（図 2-b 停止画面参照）に遷移したら、実行ボタンをクリックする。
5. 「本当に実行しますか？」とポップアップが表示されるので、OK をクリックする。
6. LED が全色同時に点滅したら、電源ケーブルと LAN ケーブルを抜く。



図 2-b 停止画面

## 2.3. 設置

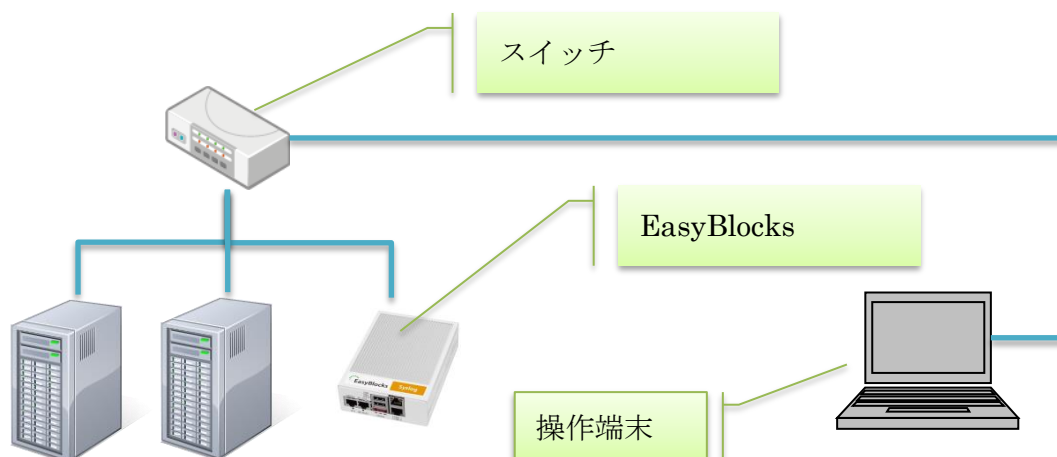


図 2-c 設置例

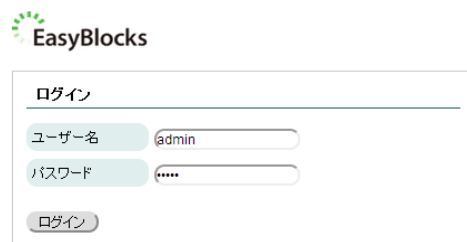
本装置をサービスネットワークに接続します。手順は以下のとおりです。

1. 本装置の **ETHER-0** 及び使用するネットワークインターフェースに **LAN ケーブル** を接続する。
2. 本装置に接続した **LAN ケーブル** を、サービスネットワークの **スイッチ** や **ルータ** に接続する。
3. 本装置に **電源ケーブル** を接続する。

### 3. WEB 操作画面

ログの閲覧、設定変更を行う場合は、操作端末から WEB ブラウザで操作画面を開いてください。手順は以下のとおりです。

1. 操作端末の WEB ブラウザで以下の URL を開く。  
http://ETHER-0 に設定した IP アドレス:880  
例) <http://192.168.1.1:880>
2. 初期設定で設定したユーザー名およびパスワードを入力し、ログインボタンをクリックする。



Version 1.0.9

(C) 2013-2014 PlatHome Co., Ltd. All rights reserved.

図 3-a ログイン画面

## 3.1. ダッシュボード

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

### システム全体の概要

#### ハードウェアリソース

CPUロードアベレージ: 0.64, 0.22, 0.08  
メインメモリ: 230 MB / 1006 MB  
ストレージ: 1531 MB / 30110 MB

#### ネットワーク (設定)

FQDN: ebsyslog.example.org  
ゲートウェイ: 172.16.7.229  
IPアドレス (eth0): 172.16.7.229  
IPアドレス (eth1): 192.168.10.200

システム全体の概要を表示します。各項目の詳細は以下の表のとおりです。

#### ◆ ハードウェアリソース

項目	説明
CPU ロードアベレージ	過去 1 分間、過去 5 分間、過去 15 分間の CPU 負荷平均値です。
メインメモリ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体
ストレージ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体

#### ◆ ネットワーク

項目	説明
FQDN	FQDN とは完全修飾ドメインのことです。 ホスト名とドメイン名を結合した値が表示されます。
ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイが表示されます。
IP アドレス(eth0)	ETHER-0 に割り当てられた IP アドレスが表示されます。
IP アドレス(eth1)	ETHER-1 に割り当てられた IP アドレスが表示されます。

## 3.2. サービス

Syslog コレクタ（サーバ）機能の操作画面です。

### 3.2.1. ログ表示

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

ログ表示

ログ統計

基本設定

フィルタ設定

ログ管理

ログ表示

フィルタ

テーブル (2015年02月) 自動更新 更新 エクスポート(?)

Show (10) entries

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	NET-SNMP version 5.4.3
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Turning on AgentX master support.
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session closed for user root
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session opened for user root by (uid=0)
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	notice	sudo	www-data : TTY=unknown ; PWD=/var/webui/docroot/apps/syslog ; USER=root ; COMMAND=/etc/lnit.d/vsftpd stop
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	user	info	php-cgi	sudo /var/webui/scripts/convert-syslog.sh
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session closed for user root
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Received TERM or STOP signal... shutting down...
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	syslog	notice	syslog-ng	syslog-ng starting up; version='3.3.5'

Showing 1 to 10 of 1,000 entries (filtered from 5,622 total entries)

First Previous 1 2 3 4 5 Next Last

Syslog コレクタ（サーバ）機能で収集したログを表示します。表示されるログは Priority ごとに色付けされます。配色は以下のとおりです。

色	Priority
	debug
	info
	notice
	warning
	err
	crit
	alert
	emerg

ログの最大表示件数は全頁合わせて 1000 件までとなっています。それ以前のログを確認したい場合は、後述のフィルタで条件を絞り込んでください。

## ◆ フィルタ

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

ログ表示

ログ統計

基本設定

フィルタ設定

ログ管理

ログ表示

フィルタ

フィルタリングルール (2) ▼

起点時刻

終点時刻

直近24時間

昨日

ホスト (2)

Facility

kern

user

mail

daemon

auth

syslog

lpr

news

uucp

cron

authpriv

ftp

local0

local1

local2

local3

local4

local5

local6

local7

Priority

emerg

alert

crit

err

warning

notice

info

debug

プログラム (2)

メッセージ (2)

除外メッセージ (2)

適用

クリア

テーブル (2015年02月 ▼)

自動更新

更新

エクスポート (2)

Show (10 ▼) entries

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	NET-SNMP version 5.4.3
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Turning on AgentX master support.
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session closed for user root
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session opened for user root by (uid=0)
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	notice	sudo	www-data : TTY=unknown ; PWD=/var/webui/docroot/apps/syslog ; USER=root ; COMMAND=/etc/init.d/vsftpd stop
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	user	info	php-cgi	sudo /var/webui/scripts/convert-syslog.sh
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session closed for user root
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Received TERM or STOP signal... shutting down...
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	syslog	notice	syslog-ng	syslog-ng starting up; version='3.3.5'

Showing 1 to 10 of 1,000 entries (filtered from 5,622 total entries)

First

Previous

1

2

3

4

5

Next

Last

収集したログにフィルタをかけて表示する機能です。フィルタ設定の手順は以下のとおりです。

1. 「フィルタ」と書かれた文字をクリックする。→フィルタの設定を行うためのフォームが開く。
2. フィルタの設定を行う。
3. 適用ボタンを押す。

設定できるフィルタは以下のとおりです。

フィルタ	説明
起点時刻	日時を対象にフィルタリングを行います。 フィルタをかける起点の時刻を指定してください。 (入力欄をクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから年月日時分秒を指定してください。)
終点時刻	日時でフィルタリングを行います。フィルタをかける終点の時刻を指定してください。 (入力欄をクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから年月日時分秒を指定してください。)
ホスト	ホストでフィルタリングを行います。ホスト名を完全一致になるように指定してください。
Facility	<b>Facility</b> でフィルタリングを行います。クリックするとボタンの色が変わります。ボタンの色が明るい場合は有効となります。 <b>Facility</b> を複数同時に設定した場合は、 <b>OR</b> でフィルタリングを行います。
Priority	<b>Priority</b> でフィルタリングを行います。クリックするとボタンの色が変わります。ボタンの色が明るい場合は有効となります。 <b>Priority</b> を複数同時に設定した場合は、 <b>OR</b> でフィルタリングを行います。
プログラム	プログラムでフィルタリングを行います。プログラム名を完全一致になるように指定してください。
メッセージ	メッセージの文字列でフィルタリングを行います。部分一致となるように指定してください。(複数ワードによるフィルタリングには対応しません。)



フィルタ	説明
除外メッセージ	メッセージの文字列でフィルタリングを行います。指定した文字列が存在しないメッセージを表示します。（複数ワードによるフィルタリングには対応しません。）

※ 複数のフィルタを設定した場合、AND でフィルタリングを行います。

### ◆ テーブル

表示する月を指定することによって、その月のデータを表示することが出来ます。

### ◆ 自動更新

自動更新を有効にすると、5秒間隔でテーブルに表示する内容を更新します。自動更新ボタンをクリックし、ボタンの色が明るくなると、有効になります。再度クリックし、ボタンの色が暗くなると、無効になります。

### ◆ 更新

更新ボタンをクリックするとテーブルに表示する内容を更新します。

### ◆ エクスポート

「テーブル」で指定したテーブルを CSV ファイルにエクスポートすることが出来ます。エクスポートにはフィルタリングの結果が反映されます。テーブル内の全データをエクスポートしたい場合は、フィルタ設定のクリアボタンをクリックしてからエクスポートボタンをクリックしてください。

※ エクスポート機能はレコード数が 10 万件まで対応していますので、10 万件以内に収まるようにフィルタリングを行った上で使用してください。レコード数については、後述のフィルタリング件数表示機能を有効にし、確認してください。

### ◆ 表示件数 (Show × × entries)

一度に表示するレコードの件数を指定できます。10、25、50、100 から選択してください。

### 3.2.2. ログ統計



過去 8 日分のホスト別、Priority 別の件数をグラフにして表示します

### 3.2.3. 基本設定

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

ログ表示ログ統計基本設定フィルタ設定ログ管理

基本設定

機能の有効/無効

syslog受信機能 ☒ 有効 ☐ 無効

自ホストのsyslog ☒ 受け取る ☐ 受け取らない

メール通知 (?)

メール通知を行う ☐ はい ☒ いいえ

SNMP Trap受信 (?)

SNMP Trapの受信を行う ☐ はい ☒ いいえ

リソース管理

SNMPエージェント ☐ はい ☒ いいえ

Syslogメッセージ中継 (?)

Syslogサーバへ転送する ☐ はい ☒ いいえ

バックアップ送信 (?)

送信する ☐ はい ☒ いいえ

レポート送信 (?)

送信する ☐ はい ☒ いいえ

FTPサーバ機能 (?)

FTPサーバ機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

フィルタリンク件数表示機能 (?)

件数表示機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

処理エラー通知機能 (?)

処理エラー機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

操作

保存

Syslog コレクタ（サーバ）とそれに関連する機能の設定を行うページです。以下の手順で設定を行ってください。

1. 設定を変更したい項目の設定値を変更する。
2. 保存ボタンをクリックする。

## ◆ 機能の有効/無効

### 機能の有効/無効

syslog受信機能 ☒ 有効 ☐ 無効

自ホストのsyslog ☐ 受け取る ☒ 受け取らない

Syslog コレクタ（サーバ）機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
syslog 受信機能	有効/無効	有効にすると、Syslog を受信します。無効にすると、Syslog を受信しません。
自ホストの syslog	受け取る/受け取らない	本装置自身からの Syslog を受信するか否かを決定します。

## ◆ メール通知

### メール通知 (?)

メール通知を行う ☒ はい ☐ いいえ

監視対象文字列 (?) [追加](#)

SMTPサーバポート  : 25 ☒ SMTP Authを使う

ユーザ名/パスワード  /

受信者メールアドレス (?)

送信者メールアドレス (?)

テストメール [送信](#)

指定した文字列にマッチする文字列を含む Syslog メッセージを受信すると自動的にメールを送信する機能です。設定項目は以下のとおりです。尚、SSL/TLS に関しては自動解釈されます。

設定項目	設定値	説明
メール通知を行う	はい/いいえ	メール通知機能の有効/無効を決定します。
監視対象文字列	文字列	設定値にマッチする文字列をメッセージに含む Syslog メッセージを受信すると、自動的にメールを送信します。 ※ ホスト、Facility、Priority、プログラムはマッチングの対象にはなりません。 ※ 設定できる文字列は最大 5 件です。OR 条件での送信となる。

設定項目	設定値	説明
SMTP サーバ/ポート	文字列/数字	メールを送信する際に使用する SMTP サーバ及びポートを指定します。
ユーザー名/パスワード	文字列/文字列	SMTP Auth を使用する場合の認証用のユーザー名及びパスワードを指定します。
受信者メールアドレス	文字列	送信先のメールアドレスを指定します。
送信者メールアドレス	文字列	送信元のメールアドレスを指定します。
テストメール	-	設定中の送信者/受信者等の設定値でテストメールを送信します。

## ◆ SNMP Trap 受信

### SNMP Trap受信(2)

SNMP Trapの受信を行う ☒ はい ☐ いいえ

snmpコミュニティ名(2)

SNMP Trap を受信して Syslog として表示する機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
SNMP Trap の受信を行う	はい/いいえ	SNMP Trap を受信するか否かを決定します。
snmp コミュニティ名	文字列	Trap を受信するコミュニティ名を指定します。 ※最大 5 件まで登録できます。

## ◆ リソース管理

### リソース管理

SNMPエージェント ☒ はい ☐ いいえ

snmpコミュニティ名

SNMP エージェント機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
SNMP エージェント	はい/いいえ	SNMP エージェント機能を有効にするか否かを決定します。
snmp コミュニティ名	文字列	SNMP エージェントのコミュニティ名を指定します。

## ◆ Syslog メッセージ中継

### Syslogメッセージ中継 (?)

Syslogサーバへ転送する ☒ はい ☐ いいえ

IPアドレス(Domain Name)

TCP/UDP ☐ TCP ☒ UDP

ポート番号

受信した Syslog メッセージを他の Syslog サーバに中継する機能です。本機能を使用した場合であっても、本装置には受信した Syslog メッセージを保存します。

設定項目	設定値	説明
Syslog サーバへ転送する	はい/いいえ	Syslog サーバへ転送するか否かを決定します。
IP アドレス (Domain Name)	IP アドレス/ドメイン名	中継先の Syslog サーバの IP アドレスかドメイン名を指定します。
TCP/UDP	TCP/UDP	レイヤ4 プロトコルを選択します。中継先のサーバが許容するプロトコルを選択してください。
ポート番号	数値	中継先のサーバの待ち受けポートを入力してください。

## ◆ バックアップ送信

### バックアップ送信 (2)

送信する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
サーバ URL (2)	(ex) ftp://example.com/foo/bar/
FTP ユーザ名	<input type="text"/>
FTP パスワード	<input type="password"/>
FTP 接続確認	<input type="button" value="確認"/>

月初に前月のデータのバックアップを FTP サーバへ転送する機能です。バックアップファイルの形式は MySQL のダンプファイルと同等です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
送信する	はい/いいえ	バックアップ送信するか否かを決定します。
サーバ URL	文字列	FTP サーバの URL を指定します。以下の形式で入力してください。 ftp://<ドメインネーム IP アドレス>ディレクトリ名 例 1)ftp://ftp.plathome.co.jp 例 2)ftp://ftp.plathome.co.jp/ftp/ ※ディレクトリを指定する場合は必ず最後に「/」を入れてください。
FTP ユーザ名	文字列	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
FTP パスワード名	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。
FTP 接続確認	-	設定しているサーバ URL、FTP ユーザ名、FTP パスワードにて、接続確認を行います。

## ◆ レポート送信

### レポート送信 (2)

送信する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
サーバ URL (2)	<input type="text" value="ex) ftp://example.com/foo/bar/"/>
FTP ユーザ名	<input type="text"/>
FTP パスワード	<input type="password"/>
FTP 接続確認	<input type="button" value="確認"/>

前日のデータを CSV 形式にして FTP サーバに送信する機能です。

尚、ハードウェアスペックの限界を超えたレポート量となった場合、本機能が正常に動作しない恐れがあります。その場合には、本機能が無効とするか、弊社サポート宛にご連絡ください。

設定項目	設定値	説明
送信する	はい/いいえ	レポート送信の有効/無効。
サーバ URL	文字列	FTP サーバの URL を指定します。以下の形式で入力してください。 ftp:// ドメインネーム <i>or</i> IP アドレス/ディレクトリ/ 例 1) ftp://ftp.plathome.co.jp 例 2) ftp://ftp.plathome.co.jp/ftp/ ※ディレクトリを指定する場合は必ず最後に「/」を入れてください。
FTP ユーザ名	文字列	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
FTP パスワード名	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。
FTP 接続確認	-	設定しているサーバ URL、FTP ユーザ名、FTP パスワードにて、接続確認を行います。



## ◆ FTP サーバ機能

### FTPサーバ機能 (?)

FTPサーバ機能を有効にする ☒ はい ☐ いいえ

パスワード

FTP を利用してダンプファイルのアップロードを行うための機能です。

設定項目	設定値	説明
有効にする	はい/いいえ	FTP サーバ機能の有効/無効。
パスワード	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。

以下の設定で FTP 接続を行ってください。

ユーザ名	ftpuser
パスワード	設定したパスワード
接続先 IP アドレス	サービスネットワークとして設定した IP アドレス

※ 本機能は HTTP でアップロードできないサイズのダンプファイルをアップロードするための機能です。

・Windows のエクスプローラから日本語のファイルのアップロードを行うと正常にファイルが取り扱えません。そのため、FTP クライアントツール(Filezilla 等)を用いてください。

・FTP のルートディレクトリには書き込み権限はありません。そのため、files ディレクトリ配下にてファイル作成及びディレクトリ作成を行ってください。

## ◆ フィルタリング件数表示機能

### フィルタリング件数表示機能 (?)

件数表示機能を有効にする ☒ はい ☐ いいえ

フィルタリング実施時に対象となった件数を表示する機能です。

設定項目	設定値	説明
件数表示機能を有効にする	はい/いいえ	フィルタリング後の件数表示機能の有効/無効。

・本機能を有効にした場合、件数取得に時間がかかり表示までの描写に時間がかかることがあります。本機能を使用したい場合にのみ、適用してください。

## ◆ 処理エラー通知

### 処理エラー通知機能 (?)

処理エラー機能を有効にする ☒ はい ☐ いいえ

SMTPサーバ/ポート  :  25 ☐ SMTP Authを使う

受信者メールアドレス (?)

送信者メールアドレス (?)

テストメール

データベースの破損等によりバックアップ送信やレポート送信処理においてエラーが発生した場合、設定した受信者メールアドレス宛にメールを送信します。尚、SSL/TLS に関しては自動解釈されます。

設定項目	設定値	説明
処理エラー機能を有効にする	はい/いいえ	処理エラーが発生した際のメール通知の有効/無効を決定します。
SMTP サーバ/ポート	文字列/数字	メールを送信する際に使用する SMTP サーバ及びポートを指定します。
ユーザー名/パスワード	文字列/文字列	SMTP Auth を使用する場合は認証用のユーザー名及びパスワードを指定します。

設定項目	設定値	説明
受信者メールアドレス	文字列	送信先のメールアドレスを指定します。
送信者メールアドレス	文字列	送信元のメールアドレスを指定します。
テストメール	-	設定中の送信者/受信者等の設定値でテストメールを送信します。

### 3.2.4. フィルタ設定

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

ログ表示

ログ統計

基本設定

フィルタ設定

ログ管理

フィルタ設定

フィルタリングルール

rule0

ルール名(2)

起点時刻

終点時刻

ホスト(2)

Facility

Priority

プログラム(2)

メッセージ(2)

除外メッセージ(2)

kern

user

mail

daemon

auth

syslog

lpr

news

uucp

cron

authpriv

ftp

local0

local1

local2

local3

local4

local5

local6

local7

emerg

alert

crit

err

warning

notice

info

debug

rule1

rule2

rule3

rule4

rule5

rule6

rule7

rule8

rule9

操作

保存

フィルタリングルールを保存することが出来ます。保存したルールは表示画面のフィルタで読み込み事が可能です。設定項目は表示のフィルタと同様です。設定後、save ボタンを押すことによって、保存する事が出来ます。

フィルタリングルールを表示に適用する手順は以下のとおりです。

1. フィルタ設定でフィルタリングルールを設定し、Save ボタンを押す。

エラー

ルール名(2)

起点時刻

終点時刻

ホスト(2)

Facility

Priority

プログラム(2)

メッセージ(2)

除外メッセージ(2)

kern

user

mail

daemon

auth

syslog

lpr

news

uucp

cron

authpriv

ftp

local0

local1

local2

local3

local4

local5

local6

local7

emerg

alert

crit

err

warning

notice

info

debug

- 表示タブをクリックして表示画面を開き、先ほど設定したフィルタリングルールを選択する。

ダッシュボード
サービス
システム
ネットワーク
メンテナンス
技術情報

ログ表示
ログ統計
基本設定
フィルタ設定
ログ管理

フィルタ

フィルタリングルール (2)

起点時刻

終点時刻

エラー

直近24時間

昨日

ホスト (2)

Facility

kern
user
mail
daemon
auth
syslog
lpr
news
uucp
cron
authpriv
ftp
local0
local1
local2
local3
local4
local5
local6
local7

Priority

emerg
alert
crit
err
warning
notice
info
debug

プログラム (2)

メッセージ (2)

除外メッセージ (2)

適用

クリア

テーブル (2015年02月)

自動更新

更新

エクスポート (2)

Show (10) entries

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	NET-SNMP version 5.4.3
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Turning on AgentX master support.
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	user	info	php-cgi	sudo /var/webui/scripts/convert-syslog.sh
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session closed for user root
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	daemon	info	snmpd	Received TERM or STOP signal... shutting down...
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	syslog	notice	syslog-ng	syslog-ng starting up; version='3.3.5'
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	syslog	notice	syslog-ng	syslog-ng shutting down; version='3.3.5'
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	authpriv	info	sudo	pam_unix(sudo:session): session opened for user root by (uid=0)
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	authpriv	notice	sudo	www-data : TTY=unknown ; PWD=/var/webui/docroot/apps/syslog ; USER=root ; COMMAND=/var/webui/scripts/convert-syslog.sh

Showing 1 to 10 of 1,000 entries (filtered from 5,670 total entries)

First
Previous
1
2
3
4
5
Next
Last

図 3-b フィルタリングルールを選択

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

ログ表示

ログ統計

基本設定

フィルタ設定

ログ管理

ログ表示

フィルタ

フィルタリングルール (2)

起点時刻

終点時刻

直近24時間

昨日

ホスト (2)

Facility

Priority

プログラム (2)

メッセージ (2)

除外メッセージ (2)

適用

クリア

テーブル (2015年02月)

自動更新

更新

エクスポート (2)

Show (10) entries

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2015-02-10 19:26:04	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:24:50	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:19:27	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:18:40	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	Error establishing SQL connection; type='mysql', host='localhost', port='', username='root', database='syslog2', error='2002: Can't connect to local MySQL server through socket '/var/run/mysqld/mysqld.sock' (2)
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	syslog	err	syslog-ng	EOF on control channel, closing connection;
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	kern	err	kernel	o 4 Giga ports supported
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	kern	err	kernel	o SKB recycle supported (Enabled)
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	kern	err	kernel	o NETA acceleration mode 1
2015-02-10 19:16:20	ebsyslogx3	kern	err	kernel	o RX Queue support: 8 Queues * 128 Descriptors

Showing 1 to 10 of 193 entries (filtered from 5,688 total entries)

First

Previous

1

2

3

4

5

Next

Last

図 3-c フィルタリングルール適用後

37/68

3.2.5. ログ管理

ログ管理

テーブル管理 更新

テーブル	状態	検索対象	削除	ダンプ	修復
2014年01月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2014年02月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2014年11月	検索済込	変更不可	変更不可	ダンプ不可	修復不可

ファイル管理 (?)

files

logs\_201401.sql.gz  
logs\_201402.sql.gz  
logs\_201403.sql.gz  
logs\_201404.sql.gz  
logs\_201405.sql.gz

更新    ダウンロード    リストア    削除

アップロード ファイルを選択 選択されていません

データベース管理

初期化

◆ テーブル管理

テーブル管理 更新

テーブル	状態	検索対象	削除	ダンプ	修復
2014年01月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2014年02月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2014年11月	検索済込	変更不可	変更不可	ダンプ不可	修復不可

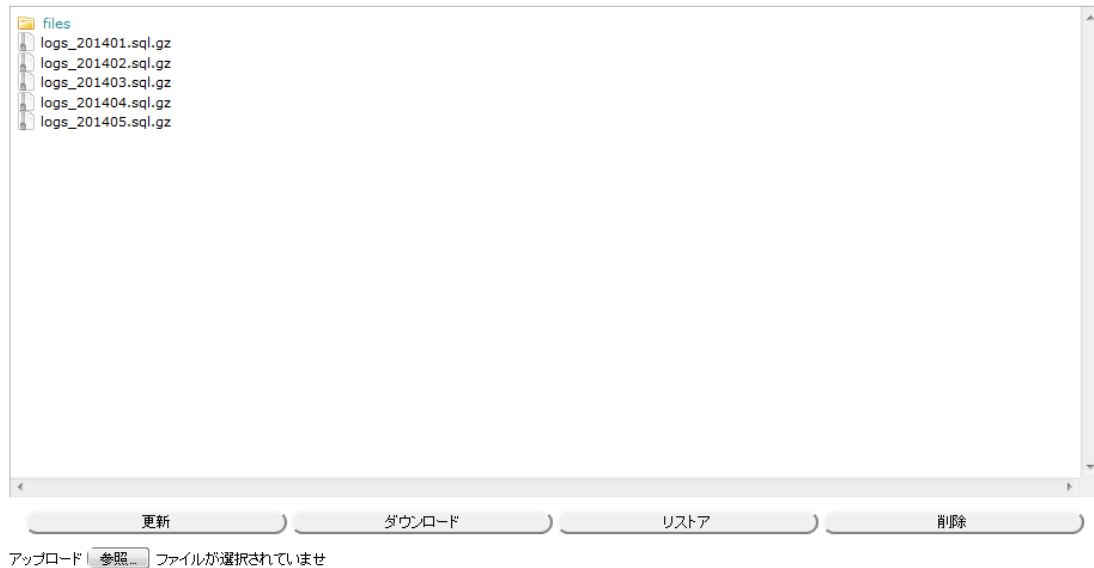
テーブルを管理するための表です。表の内容は以下のとおりです。更新ボタンにより、リストア失敗等にてテーブル管理に表示されないテーブルを反映させることができます。

項目	説明
テーブル	年月が表示されます。
状態	検索対象にチェックを入れると「検索」になります。チェックをはずすと「無効」になります。状態が「待機」になっている場合は処理中です。当月分のテーブルの状態は「検索/書き込み」になります。
検索対象	当該テーブルがログ表示のテーブルに含まれるか否かを指定します。
削除	テーブルを削除します。当月分のテーブルを削除することは出来ません。
ダンプ	ボタンを押すと、本装置内にダンプファイルを作成します。ダンプが完了すると、ダンプファイル (files/logs_yyyymm.sql.gz) がファイル管理のテーブルに表示されます。後述のファイル管理機能でダウンロード、アップロード、リストアを行うことが可能です。当月分のテーブルをダンプすることは出来ません。
修復	ボタンを押すと、当該テーブルのインデックス情報を修復します。当月分のテーブルを修復することは出来ません。



◆ ファイル管理

ファイル管理 (2)



ダンプファイルを管理するためのインタフェースです。以下の操作が可能です。

目的	操作
ファイルのダウンロード	ダウンロードしたいファイルをクリックし、ダウンロードボタンをクリックしてください。
ファイルのアップロード	<p>ファイル管理下部の「アップロード」という文字の横にあるボタン（ボタンの表示は「参照」、「ファイルを選択」など）をクリックして、ファイルを選択してください。アップロードが完了するとファイル管理画面は更新されますが、更新されない場合は、更新ボタンをクリックしてください。</p> <p>アップロードできるファイルサイズの上限は <b>256MB</b> です。それ以上のサイズのファイルをアップロードする場合は、FTP サーバ機能をご利用ください。</p> <p>※アップロード時は <b>files</b> ディレクトリと同階層にファイルが置かれます。</p>

ダンプファイルからのリストア	リストアしたいファイルをクリックし、リストアボタンを押してください。なお、リストアするファイルに対応するテーブルが既にある場合はリストア出来ません。
ファイルの削除	ファイルを削除します。削除したいファイルをクリックし、削除ボタンをクリックしてください。

## ◆ データベース管理

データベース管理

---

初期化

データベースを管理するためのインタフェースです。以下の操作が可能です。

目的	操作
データベースの初期化 (データベースを工場出荷時と同じ状態 に戻します。)	初期化ボタンをクリックしてください。確 認ダイアログが表示されますので、デー タベースの内容を全て削除しても問題ない 場合は <b>OK</b> をクリックしてください。

## 3.3. システム

### 3.3.1. 時刻設定

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

時刻設定

リポジトリ

マイページ

EasyBlocks

時刻設定 (2)

PCと時刻を同期 (2)2015/04/01 17:33:44同期

ntpサーバ1 (2)オプションprefer maxpoll 10 (2)

ntpサーバ2オプション

ntpサーバ3オプション

タイムゾーンAsia/Tokyo

操作

保存

ntpq -p更新

remote	refid	st	t	when	poll	reach	delay	offset	jitter
*LOCAL(1)	.LOCL.	10	1	10	64	377	0.000	0.000	0.000

ntpdate

時刻同期先サーバ実行

### ◆ 時刻設定

時刻設定 (2)

PCと時刻を同期 (2)2015/04/01 17:33:44同期

ntpサーバ1 (2)オプションprefer maxpoll 10 (2)

ntpサーバ2オプション

ntpサーバ3オプション

タイムゾーンAsia/Tokyo

本装置の時刻設定です。

PC と時刻を同期する場合の手順は以下のとおりです。

1. PC と時刻を同期の横の同期ボタンをクリックする。

NTP サーバを指定する場合の手順は以下のとおりです。

1. ntp サーバ 1 に NTP サーバの IP アドレスを入力する。
2. 複数の NTP サーバを指定する場合は、ntp サーバ 2、ntp サーバ 3 に NTP サーバの IP アドレスを入力する。
3. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。

◆ 付随情報、設定

ntpq -p

更新

remote	refid	st	t	when	poll	reach	delay	offset	jitter
*LOCAL(1)	.LOCL.	10	l	26	64	1	0.000	0.000	0.004

ntpdate

時刻同期先サーバ

実行

以下のコマンドの結果を確認する事が出来ます。

● ntpq -p

また、ntpdate 機能にてサーバと時刻同期を行えます。

本画面の設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
PC と時刻を同期	本装置の時刻を操作端末の時刻と同じ値に設定します。
ntp サーバ 1 ～ 3	NTP サーバの IP アドレスを設定します。3 台まで設定可能です。オプションには ntp.conf のオプションと同等のものが使えます。
タイムゾーン	本装置の時刻のタイムゾーンを設定します。デフォルトは”Asia/Tokyo”となります。

### 3.3.2. リポジトリ

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

時刻設定

リポジトリ

マイページ

EasyBlocks

リポジトリ情報 (2)

セキュリティアップデート (2)

http://ftp.plathome.co.jp/pub/debian-security

EasyBlocksシステム (2)

http://ftp.plathome.co.jp/ebsyslog

サポートデスクアカウント (2)

アカウント:( ) パスワード:( )

操作

保存

#### ◆ リポジトリ情報

リポジトリ情報 (2)

セキュリティアップデート (2)

http://ftp.plathome.co.jp/pub/debian-security

EasyBlocksシステム (2)

http://ftp.plathome.co.jp/ebsyslog

サポートデスクアカウント (2)

アカウント:( ) パスワード:( )

本装置のソフトウェアのアップデートを行うための設定です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
セキュリティアップデート	セキュリティアップデートのダウンロード元です。弊社から変更をお願いした場合のみ変更してください。
EasyBlocks システム	EasyBlocks システムのダウンロード元です。弊社から変更をお願いした場合のみ変更してください。
サポートデスクアカウント	サポートデスクのアカウント情報です。初期設定時にサポートデスクのアカウントを設定しなかった場合は、サポートサービス登録完了通知書に記載された「USER ID」をアカウントに、「PASS WORD」をパスワードに入力してください。

### 3.3.3. マイページ

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス 技術情報

基本 詳細 マイページ EasyBlocks

登録情報の編集

ユーザー名 admin

パスワード ●●●●

操作

保存 クリア

#### ◆ 登録情報の編集

登録情報の編集

ユーザー名 admin

パスワード ●●●●

本装置の操作画面にログインするためのアカウントの設定です。パスワードのみ変更する事が出来ます。設定の手順は以下のとおりです。

1. パスワードを入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。

### 3.3.4. EasyBlocks



#### ◆ 使用許諾

本装置で使用しているソフトウェアのライセンス情報を見ることが出来ます。



### 3.4. ネットワーク

#### 3.4.1. 基本

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

基本ルーティングプロキシ状態

共通設定

ホスト名 (2)

syslog-1

ドメイン名 (2)

example.com

デフォルトゲートウェイ (2)

172.31.12.1

DNSサーバ1

172.31.12.6

DNSサーバ2

DNSサーバ3

サービスネットワーク (Ether-0)

IPアドレス

172.31.7.204 / 24 (2)

サービスネットワーク (Ether-1)

使用する

☒はい☐いいえ

IPアドレス

192.168.10.250 / 24 (2)

サービスネットワーク (Ether-2)

使用する

☒はい☐いいえ

IPアドレス

192.168.11.251 / 24 (2)

サービスネットワーク (Ether-3)

使用する

☐はい☒いいえ

操作

保存

ネットワーク設定を行う画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。
3. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ホスト名	本装置に割り当てるホスト名を入力してください。使用できる文字は英数字とハイフンです。

項目	説明
ドメイン名	本装置を設置したネットワークのドメイン名を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力してください。
DNS サーバ 1 ～ 3	名前解決に使用する DNS サーバの IP アドレスを指定してください。複数の DNS サーバを指定する場合は、DNS サーバ 2 および DNS サーバ 3 にも DNS サーバの IP アドレスを入力してください。

### ◆ サービスネットワーク (Ether-0)

#### サービスネットワーク (Ether-0)

IPアドレス  /  ( ? )

本装置に IP アドレスを割り当てるための画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。
3. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
IP アドレス	本装置に割り当てる IP アドレスとネットマスク（プレフィックス長）を指定してください。

## ◆ サービスネットワーク（Ether-1～Ether-3）

### サービスネットワーク (Ether-1)

使用する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
IPアドレス	192. 168. 10. 250 / 24 (?)

### サービスネットワーク (Ether-2)

使用する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
IPアドレス	192. 168. 11. 251 / 24 (?)

### サービスネットワーク (Ether-3)

使用する	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
------	---

本装置の **Ether-1** 以降のネットワークインターフェースに **IP アドレス**を割り当てるための画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. サービスネットワークとして使用するインターフェースの「使用する」欄のラジオボタンを選択する。
2. 各設定項目に値を入力する。
3. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。
4. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
IP アドレス	本装置の該当ネットワークインターフェースに割り当てる IP アドレスとネットマスク（プレフィックス長）を指定してください。

### 3.4.2. ルーティング

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

基本

ルーティング

プロキシ

状態

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス

ゲートウェイ

操作

保存

クリア

一覧

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
192.168.1.0	255.255.255.0	172.31.12.1	<a href="#">編集</a> / <a href="#">削除</a>

静的ルーティング設定を行う画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 操作の保存ボタンをクリックする。
3. 再起動を行う。

保存が完了すると、画面下部の一覧に設定した内容が反映されます。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ネットワークアドレス	パケットの送信先のネットワークアドレスとネットマスク（プレフィックス長）を指定してください。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスを入力してください。

### 3.4.3. 詳細

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

基本ルーティングプロキシ状態

Proxyサーバ (必要な場合)

アドレスポート

http:// proxy.example.org : 8080

BASIC認証(必要な場合)

ユーザーID: username パスワード: password

操作

保存

#### ◆ Proxy サーバ

Proxyサーバ (必要な場合)

アドレスポート

http:// proxy.example.org : 8080

BASIC認証(必要な場合)

ユーザーID: username パスワード: password

外部への WEB アクセスに HTTP proxy を経由する必要がある環境では、本装置のソフトウェアのオンラインアップデートに本設定が必要となります。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 操作の保存ボタンをクリックする
3. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
アドレス：ポート	HTTP proxy の URL とポート番号を入力してください。
BASIC 認証	HTTP proxy に認証が必要である場合は、ユーザーID とパスワードを入力してください。

### 3.4.4. 状態

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

技術情報

基本

ルーティング

プロキシ

状態

状態

ifconfig

eth0Link encap:Ethernet HWaddr 00:0a:85:08:04:24  
inet addr:172.16.7.208 Bcast:172.16.7.255 Mask:255.255.255.0  
inet6 addr: fe80::20a:85ff:fe08:424/64 Scope:Link  
UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1  
RX packets:30572 errors:0 dropped:16253 overruns:0 frame:0  
TX packets:816 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0  
collisions:0 txqueuelen:532  
RX bytes:2325404 (2.2 MiB) TX bytes:335972 (328.0 KiB)  
Interrupt:8  
  
eth3Link encap:Ethernet HWaddr 00:0a:85:08:04:27  
inet addr:192.168.10.250 Bcast:192.168.10.255 Mask:255.255.255.0  
inet6 addr: 2409:10:320:0:20a:85ff:fe08:427/64 Scope:Global  
inet6 addr: fe80::20a:85ff:fe08:427/64 Scope:Link  
UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1  
RX packets:6804 errors:0 dropped:260 overruns:0 frame:0  
TX packets:8 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0  
collisions:0 txqueuelen:532  
RX bytes:588789 (574.9 KiB) TX bytes:596 (596.0 B)  
Interrupt:14  
  
loLink encap:Local Loopback  
inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0  
inet6 addr: ::1/128 Scope:Host  
UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436 Metric:1  
RX packets:3 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0  
TX packets:3 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0  
collisions:0 txqueuelen:0  
RX bytes:172 (172.0 B) TX bytes:172 (172.0 B)

netstat -nr

Kernel IP routing table  
DestinationGatewayGenmaskFlagsMSSWindowirttIface  
0.0.0.0172.16.7.10.0.0.0UG000eth0  
172.16.7.00.0.0.0255.255.255.0U000eth0  
192.168.10.00.0.0.0255.255.255.0U000eth3

arp -an

? (172.16.7.209) at bc:5f:f4:72:83:8d [ether] on eth0  
? (172.16.7.1) at 00:a0:de:65:73:44 [ether] on eth0

/etc/hosts

::1localhost  
127.0.0.1localhost  
127.0.0.1ebsyslogx3t.example.org

/etc/resolv.conf

nameserver 172.16.2.6

以下のコマンドの結果を確認する事が出来ます。

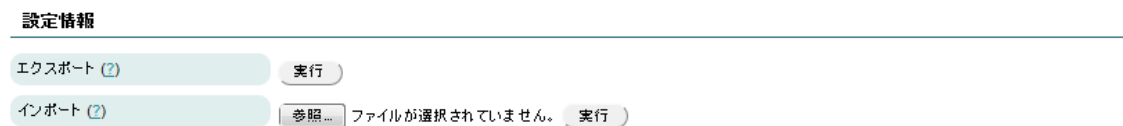
- ifconfig
- netstat -nr
- arp -an
- cat /etc/hosts
- cat /etc/resolv.conf

## 3.5. メンテナンス

### 3.5.1. 設定



#### ◆ 設定情報



設定のエクスポートとインポートを行う画面です。

設定のエクスポートの手順は以下のとおりです。

1. 「エクスポート」の横の実行ボタンをクリックする。
2. ファイル名「easybox\_webui.conf」のダウンロードが開始される。ブラウザによっては保存するか開くかを問われるので「保存する」を選択する。

※ 保存される場所はブラウザや OS に依存します。

設定のインポートの手順は以下のとおりです。

1. 「インポート」の横にある参照ボタンをクリックする。
2. 設定ファイル（easybox\_webui.conf 等）を選択する。
3. 「インポート」の横にある実行ボタンをクリックする。
4. 画面上部に「設定を反映するには、再起動が必要です。」と表示されたら、その文字列の「再起動」をクリックする。
5. 停止・再起動画面が表示されるので、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
6. 再起動画面が表示されるので、実行ボタンをクリックする。

7. ポップアップで「本当に実行しますか？」と確認されるので、OK をクリックする。



図 3-d インポート実行後



図 3-e 停止・再起動画面

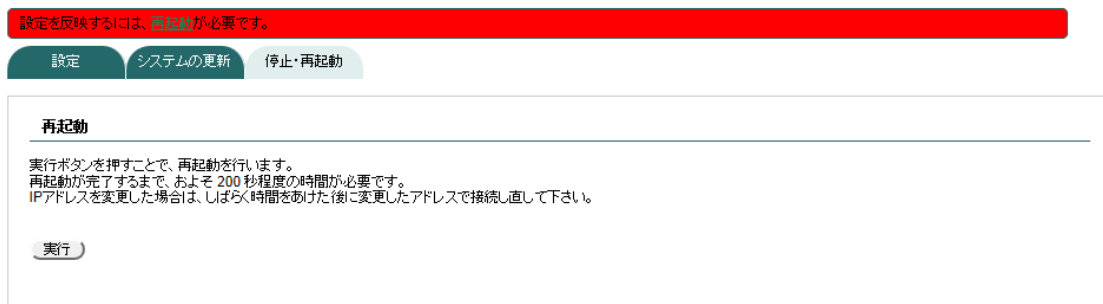


図 3-f 再起動画面



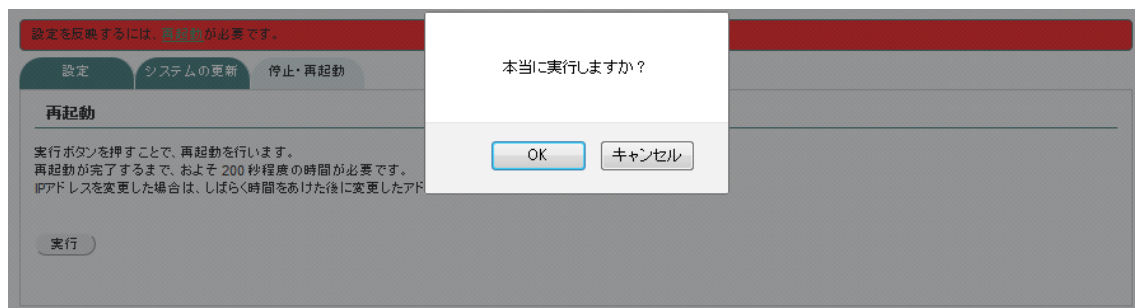


図 3-g ポップアップ

### 3.5.2. システムの更新



本装置のソフトウェアのアップデートを行う画面です。

#### ◆ アップデート - オンライン

オンラインアップデートの手順は以下のとおりです。

1. 「オンライン」の横の「更新有無を確認」をクリックする。
2. 「オンライン」の横に「更新があります」と表示された場合、「更新予約をする」と書かれたボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されるので **OK** をクリックする。
4. 停止・再起動画面が表示されたら、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
5. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
6. 確認のポップアップが表示されたら、**OK** をクリックする。
7. ログイン画面が表示されるまで待つ。
8. 再度、更新有無を確認し、「更新はありません」と表示されることを確認する。
9. 更新がある場合は、再度、アップデートを実行する。

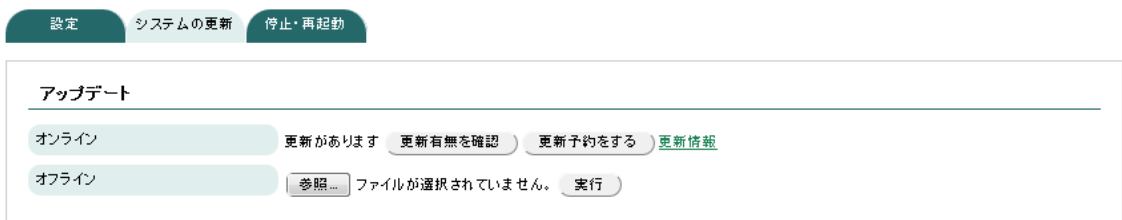


図 3-h 更新がある場合

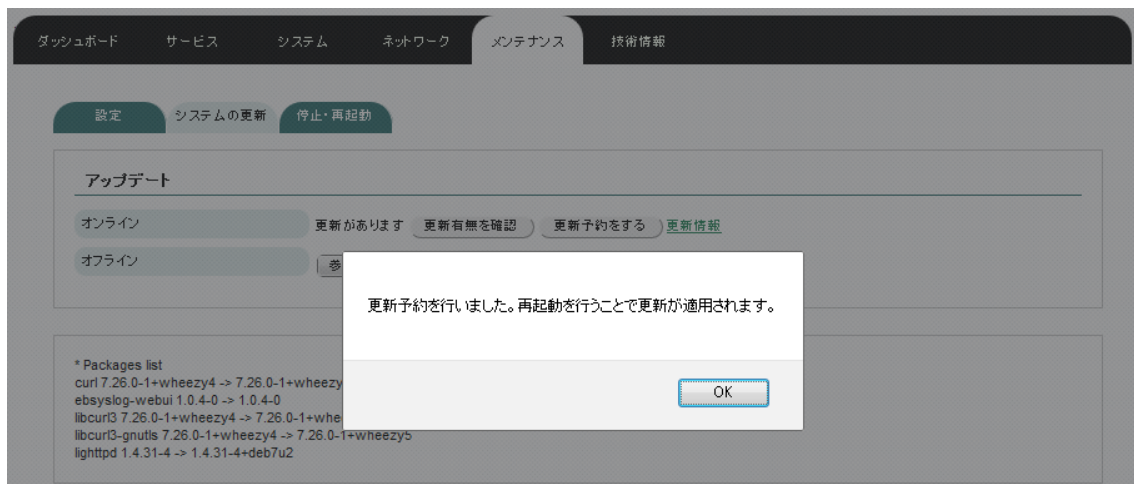


図 3-i 更新予約の通知

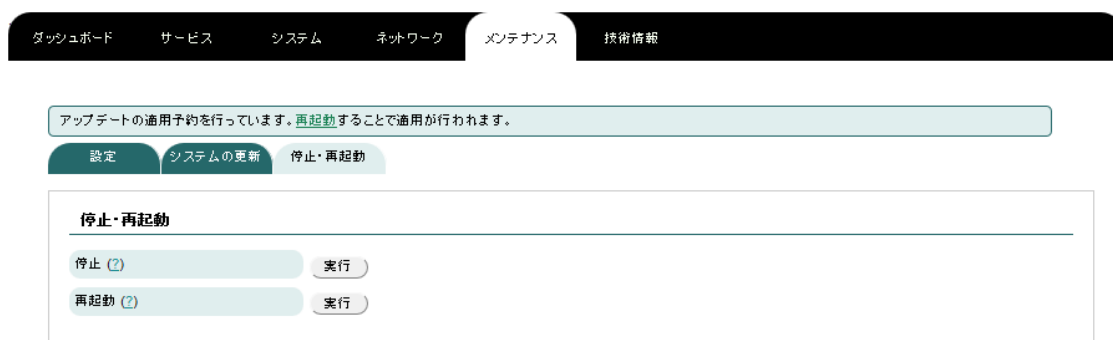


図 3-j 停止・再起動画面

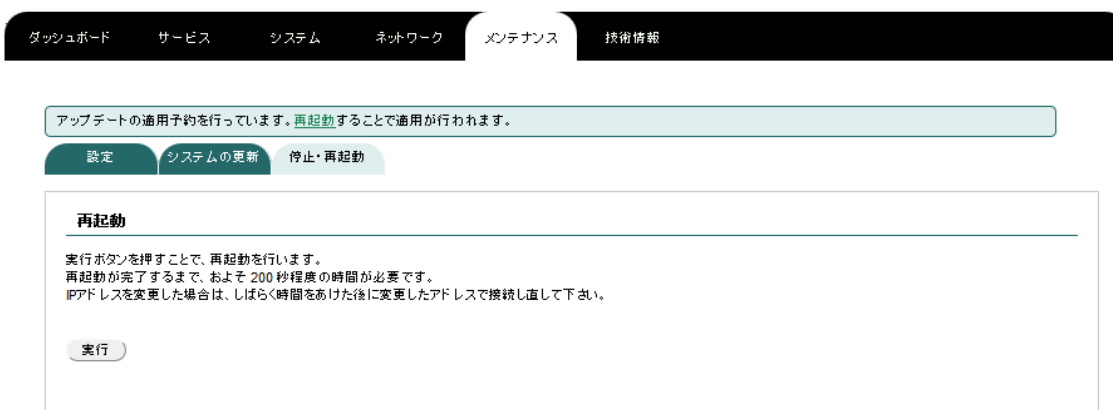


図 3-k 再起動画面

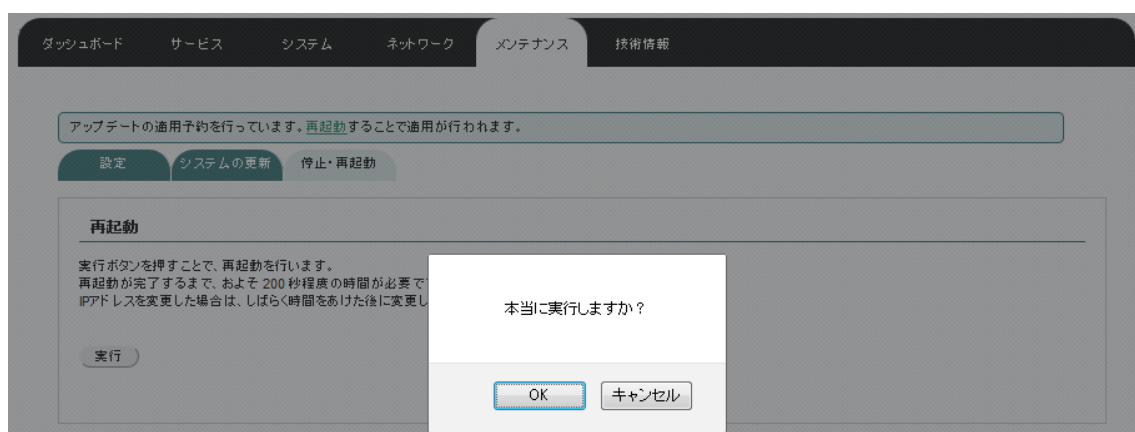


図 3-1 再起動の確認ポップアップ



図 3-m 再起動中



## ◆ アップデート - オフライン

オフラインアップデートの手順は以下のとおりです。

1. ユーザーサイトからオフラインアップデートファイルをダウンロードする。
2. 「オフライン」の横の参照ボタンをクリックする。
3. 先ほどダウンロードしたファイルを選択する。
4. ファイル名の横の実行ボタンをクリックする。
5. 「アップデートの適用予約を行っています。再起動することで適用が行われます。」と表示されたら、その文字列の再起動をクリックする。
6. 停止・再起動画面が表示されたら、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
7. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
8. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。
9. ログイン画面が表示されるまで待つ。
10. ログイン画面の右下のバージョン番号がアップデートファイルのバージョン番号と一致する事を確認する。

## ダウンロード

### オフラインアップデートファイル

- [ebsyslog-update-1.0.4.tgz](#)  
MD5: 080a62221783a6a0c9c64fd58227dca4  
サイズ: 1,845,440 bytes
- [ebsyslog-update-1.0.3.tgz](#)  
MD5: be94178932d90217ff0cdeae724c635c  
サイズ: 1,651,029 bytes
- [ebsyslog-update-1.0.2.tgz](#)  
MD5: f6e4f609bdea0e1b2a78832a6d3359c8  
サイズ: 1,660,509 bytes
- [ebsyslog-update-1.0.1.tgz](#)  
MD5: ee552880de94873ac3594e60497f4af9

図 3-n ユーザーサイト

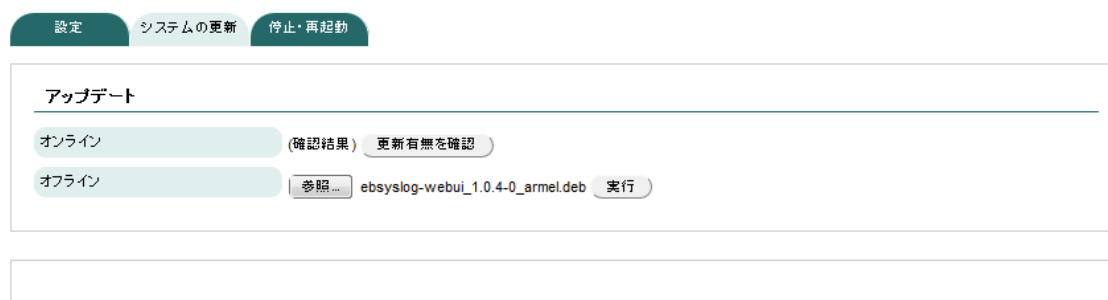


図 3-o ファイルの選択

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

アップデートの適用予約を行っています。再起動することで適用が行われます。

設定を反映するには、再起動が必要です。

設定システムの更新停止・再起動

アップデート

オンライン

オフライン

(確認結果)

更新有無を確認

参照...

ファイルが選択されていません。

実行

図 3-p 適用予約通知

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

アップデートの適用予約を行っています。再起動することで適用が行われます。

設定を反映するには、再起動が必要です。

設定システムの更新停止・再起動

停止・再起動

停止 (?)

再起動 (?)

実行

実行

図 3-q 停止・再起動画面

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

アップデートの適用予約を行っています。再起動することで適用が行われます。

設定を反映するには、再起動が必要です。

設定システムの更新停止・再起動

再起動

実行ボタンを押すことで、再起動を行います。  
再起動が完了するまで、およそ 200 秒程度の時間が必要です。  
IPアドレスを変更した場合は、しばらく時間をあけた後に変更したアドレスで接続し直して下さい。

実行

図 3-r 再起動画面

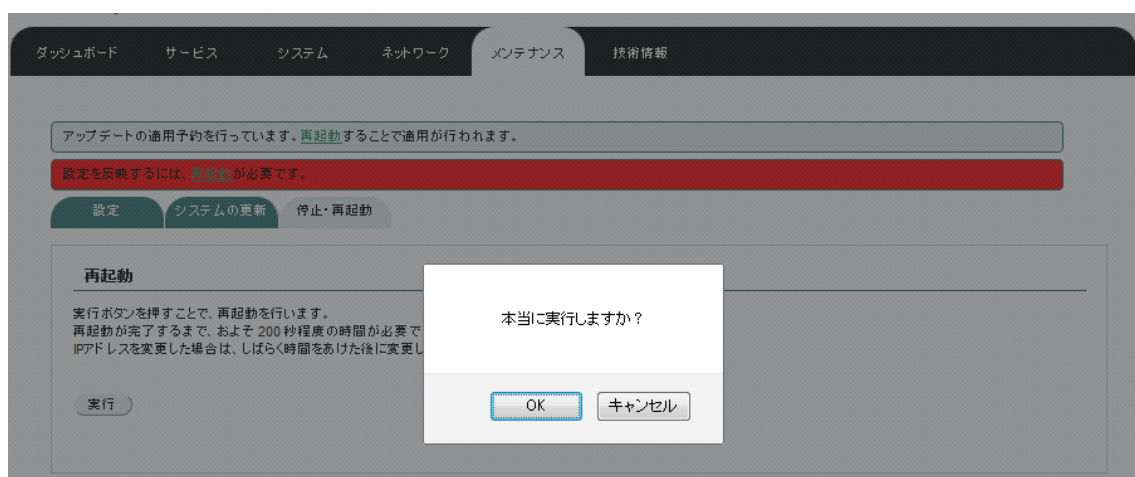


図 3-s 再起動確認ポップアップ



図 3-t 再起動中

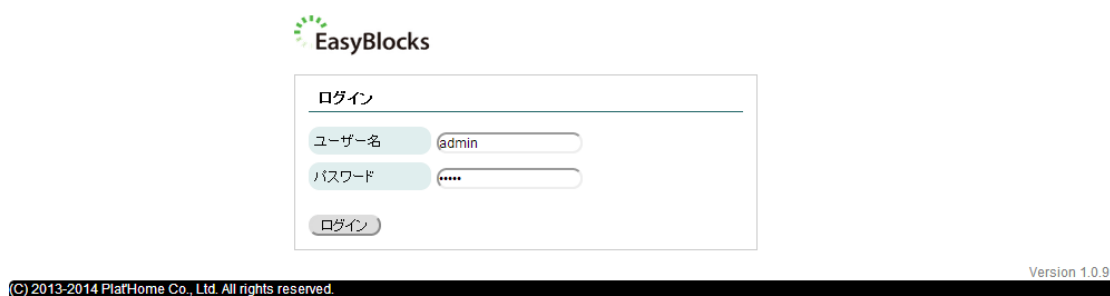


図 3-u ログイン画面

### 3.5.3. 停止・再起動



本装置の停止・再起動を行う画面です。

#### ◆ 停止

停止の手順は以下のとおりです。

1. 「停止」の横の実行ボタンをクリックする。
2. 停止画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。
4. LED が全色同時に点滅を開始したら、電源ケーブルを抜く。



図 3-v 停止画面





図 3-w 停止確認ポップアップ

#### ◆ 再起動

停止の手順は以下のとおりです。

1. 「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
2. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。



図 3-x 再起動画面

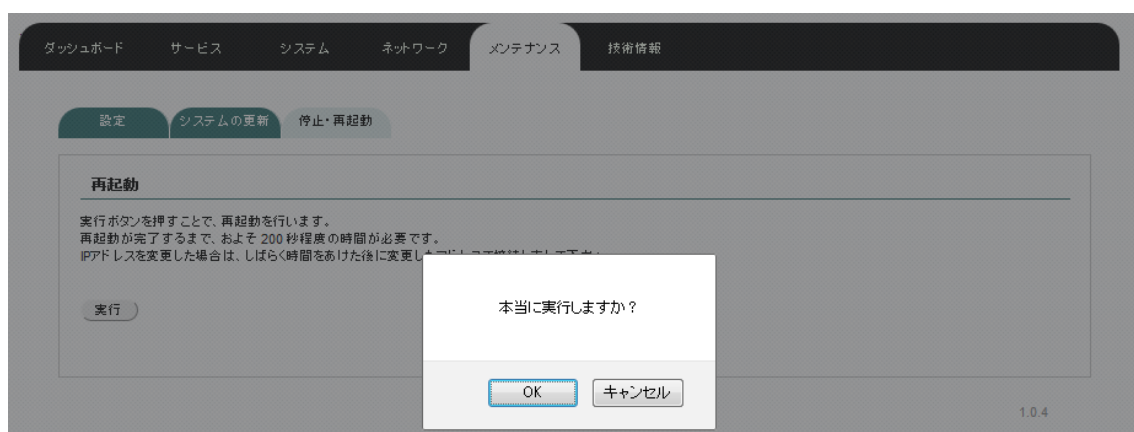


図 3-y 再起動確認ポップアップ

### 3.5.4. ログ収集



#### ◆ ログ・環境情報取得

ログ・環境情報を取得する機能です。サポートへお問い合わせいただいた場合、ログの収集をお願いすることがあります。その際は、こちらの実行ボタンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。

## 4. ログの自動削除

---

1 時間ごとにディスク容量をチェックし、使用率が 80%を超えている場合は、最も古いテーブルを自動的に削除します。

※ 当月分のテーブルしか存在しない場合は、当月分のデータを全て削除します。

## 5. サポート用アカウント

---

SSH またはシリアルコンソールにて接続するサポート用のアカウント(ユーザーID: ebsupport、パスワード: ebsyslog)を用意しております。以下のコマンドについて、サポートしておりますのでパッケージ不備等時にご使用ください。

- `sudo apt-get`
- `sudo dpkg`
- `sudo dpkg-reconfigure`

## 6. 補足

---

### 6.1. WEB I/F のアクセスについて

リストア中や月初時のデータの圧縮作業中には **WEB I/F** にアクセスが行えません。データ量が多い場合には、この作業に長時間かかる恐れがあります。

本装置のプロセス状況の確認については、サポート用アカウントにてログインをし確認を行ってください。

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F